

平成25年度

修学旅行の実施状況並びに「学びの集大成を
図る修学旅行」の取組についてのアンケート

＜関修委研究委員会報告＞

関東地区公立中学校修学旅行委員会研究委員会
(事務局:公益財団法人全国修学旅行研究協会)

平成25年度

**修学旅行の実施状況並びに「学びの集大成を図る修学旅行」
の取り組みについて調査集計結果の分析と考察
～感性をはぐくむ修学旅行～**

I 調査研究のねらい

中学校学習指導要領の全面実施から一年、特別活動の一層の充実と目標を達成するために「望ましい集団活動を通して」「ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、体験活動を充実させていくこと、各教科等との関連を図った指導を実践すること」が求められている。

生徒の実態をみると、知識・技能の習得に比べ「知識・技能を実生活の場に活用する力や表現する力など課題がある」との指摘があり、今後とも、修学旅行は課題克服に向けて重要な役割を担うものと考えられる。

これまで関東地区公立中学校修学旅行委員会は、これらの様々な課題を受けて各学校における修学旅行の取り組みについて、実態調査を継続的に行ってきた。

昨年度は「修学旅行における安全対策の取り組みについて」調査研究を行ったが、そこで改めて明らかになったのは、修学旅行中の事故発生時の役割分担の作成、修学旅行の事前研修や集団行動訓練の重要性、自然災害等における安全な場所への移動等の安全確保や情報収集、連絡体制であった。

今年度は、昨年度に引き続き、『感性をはぐくむ修学旅行』をテーマとして、調査・研究を進めることとした。

調査にあたっては「学びの集大成を図る修学旅行」をサブテーマとして、修学旅行と学習の関係をより一層明確にし、事前・事後指導の取り組みについて調査・研究を進めることにした。

現在の教育課程では、生徒の心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、自主的実践的な態度を育てる上で大切な特別活動の時間が限られてきている。修学旅行を実施するにあたり取り組みの工夫や改善が求められる中、修学旅行を企画する上で学校が最も重視しているものは何か、どのように取り組もうとしているのかを調査することとした。

また、「3.11」後における修学旅行先の変化についても継続して調査するとともに、今年度は、体験活動の内容についても調査することにした。

これらの調査が、各学校における今後の学校教育活動に有効な資料となることを期待する。

II 調査状況(平成25年度修学旅行の実施状況調査)

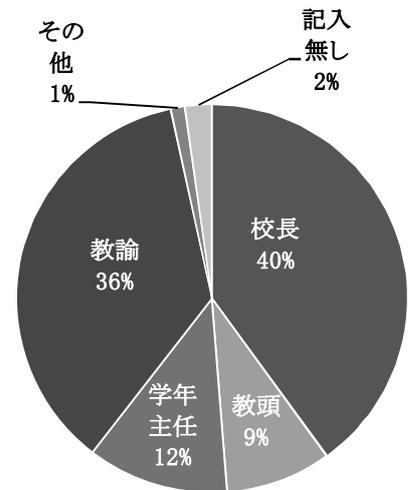
- 1 調査対象 関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
- 2 調査の時期 平成25年7月
- 3 調査内容 (1)平成25年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況
時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用・不参加生徒数
(2)修学旅行での体験学習について
(3)修学旅行の行き先変更状況について
(4)学びの集大成を図る修学旅行の取り組みについて

4 回答状況 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	231	160	168	419	383	1,361
回答数	127	160	156	419	382	1,244
回答率	55.0%	100.0%	92.9%	100.0%	99.7%	91.4%

回答者 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
校長	12	41	76	222	147	498	40.0%
教頭	17	4	24	31	33	109	8.8%
学年主任	24	41	4	37	39	145	11.7%
教諭	71	73	39	119	148	450	36.2%
その他	0	1	1	3	9	14	1.1%
記入無し	3	0	12	7	6	28	2.3%



III 実施概況

1 実施時期 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	4	32	1		1	38	3.1%
5月	41	10	65	58	313	487	39.1%
6月	73	82	71	228	58	512	41.2%
7月		31		39	1	71	5.7%
8月			1			1	0.1%
9月	7	4	3	16	1	31	2.5%
10月			1		1	2	0.2%
11月						0	0.0%
12月				18		18	1.4%
1月				12		12	1.0%
2月				45		45	3.6%
3月				1		1	0.1%
記入無し	2	1	14	2	7	26	2.1%

・実施時期については5～6月がもっとも多く、80.3%が実施している。

・連合体の集約列車を利用しないで4月実施という学校が38校ある。

・9月実施校は31校となり、昨年度の25校より若干増加している。

・2月実施校は昨年とほぼ同じ45校となっている。

2 実施日数 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
2日間				1		1	0.1%	0.1%
3日間	126	159	142	410	377	1,214	97.6%	99.7%
4日間					2	2	0.2%	0.2%
8日間			1			1	0.1%	0.1%

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は全回答数1,218に対する値

・実施日数は3日間が圧倒的に多く99.7%となっている。

・群馬県の8日間は夏季休業中の海外ホームステイ実施校。

3 実施方面

	校					合計	割合
東北					11	11	0.9%
会津・日光					13	13	1.0%
信州					88	88	7.1%
北陸		1	2		3	3	0.2%
関西	123	148	132	416	262	1,081	86.9%
広島・関西	3	10	7	3	5	28	2.3%
海外			1			1	0.1%
その他					3	3	0.2%
記入無し	1	1	14	0	0	16	1.3%

※割合は全体数1,244校に対する値
 ※その他は甲信越地方（新潟）

・関西方面(広島含む)実施校が89.1%となっている。
 ・広島・関西方面が昨年の12校から28校と大幅な増加となった。広島便設定の影響が考えられる。

・東北、会津・日光、信州方面
 22年 23年 24年 25年
 東北) 21校 6校 9校 11校
 会津・日光) 43校 2校 4校 13校
 信州) 60校 107校 97校 88校

*東日本大震災後、急減した東北方面が24年、25年と増えつつある。

4 訪問地(県)(複数回答)

	校					合計	割合1	割合2
青森県					4	4	0.3%	0.2%
岩手県					3	3	0.2%	0.1%
宮城県					1	1	0.1%	0.0%
山形県					5	5	0.4%	0.2%
福島県					12	12	1.0%	0.5%
栃木県					10	10	0.8%	0.4%
東京都					4	4	0.3%	0.2%
新潟県					4	4	0.3%	0.2%
長野県					88	88	7.1%	3.6%
岐阜県					15	15	1.2%	0.6%
滋賀県		1	1	1	5	8	0.6%	0.3%
京都府	126	159	141	417	267	1,110	89.2%	45.3%
大阪府	14	4	5	4	25	52	4.2%	2.1%
兵庫県			1	1	9	11	0.9%	0.4%
奈良県	116	159	135	415	248	1,073	86.3%	43.8%
広島県	2	13	5	3	5	28	2.3%	1.1%
海外			1			1	0.1%	0.0%
記入無し等	1	1	16	2		20	1.6%	0.8%
合計(延校数)	259	337	305	843	705	2,449		100%

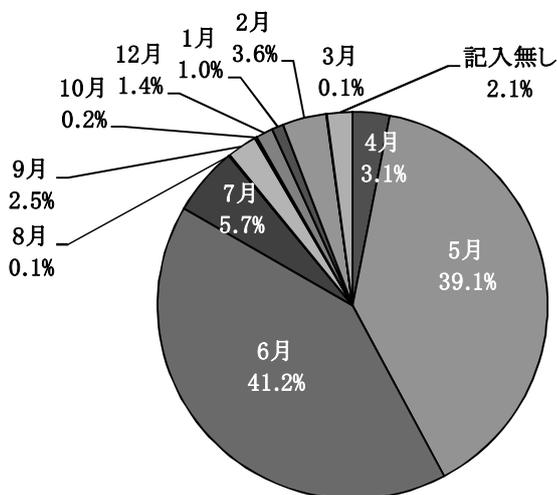
※割合1は全体数1,244校に対する値
 ※割合2は延校数2,449校に対する値

・訪問地は京都・奈良が圧倒的に多い。

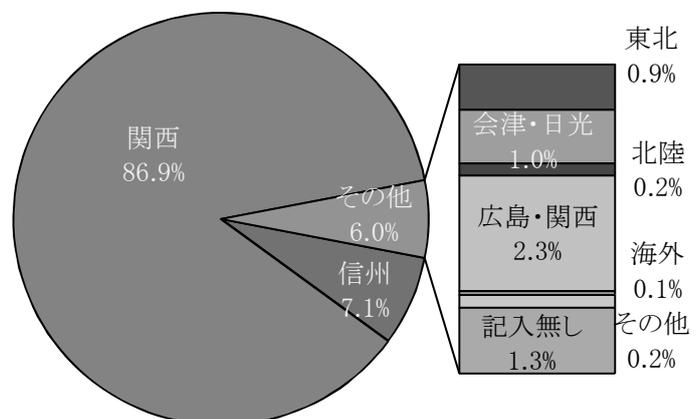
・方面別にみると、千葉県が信州方面や東北方面等多方面へ行っている。

・長野において農家民泊や農業体験、自然スポーツ体験等実施している。

(実施時期)



(実施方面)

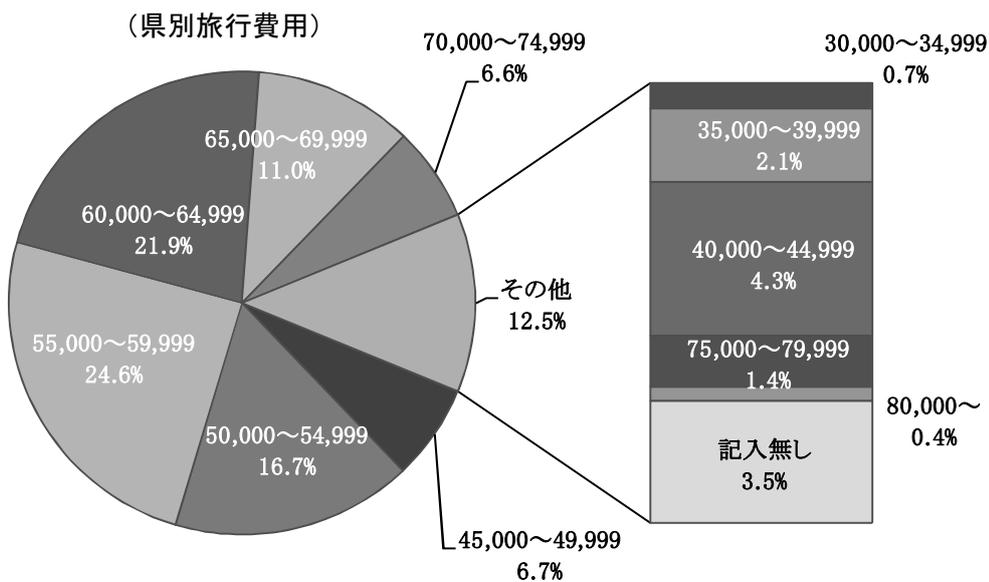
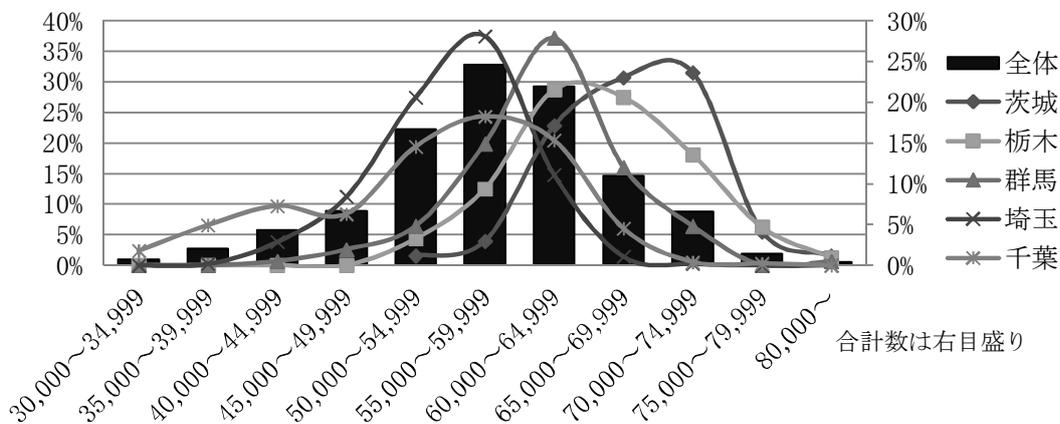


5 県別旅行費用(生徒一人当たり平均額) 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
30,000～34,999					9	9	0.7%
35,000～39,999				1	25	26	2.1%
40,000～44,999			1	16	37	54	4.3%
45,000～49,999			4	47	32	83	6.7%
50,000～54,999	2	7	10	115	74	208	16.7%
55,000～59,999	5	20	31	157	93	306	24.6%
60,000～64,999	29	46	58	62	78	273	21.9%
65,000～69,999	39	44	25	6	23	137	11.0%
70,000～74,999	40	29	10	1	2	82	6.6%
75,000～79,999	7	10			1	18	1.4%
80,000～	2	2	1			5	0.4%
記入無し	3	2	16	14	8	43	3.5%
合計	127	160	156	419	382	1,244	100%

※割合は全体数1,244校に対する値

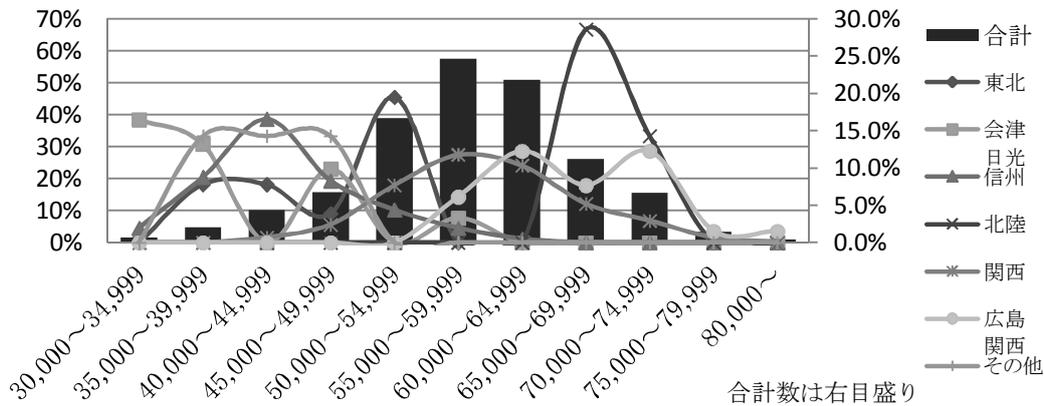
- ・1人当たりの平均費用は55,000～59,999円が最も多い。
- ・県別に見ると、継走列車を利用する茨城・栃木・群馬は60,000～74,999円が最も多く、埼玉・千葉は50,000～59,999円が最も多い。
- ・千葉県は方面が多岐にわたり費用も広く分布する。



6 方面別旅行費用(生徒一人当たり平均額)

校

	東北	会津日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	記入無し	合計
30,000～34,999		5	4							9
35,000～39,999	2	4	18		1			1		26
40,000～44,999	2		34		17			1		54
45,000～49,999	1	3	17		61			1	1	84
50,000～54,999	5		9		194					208
55,000～59,999		1	4		297	4				306
60,000～64,999			1		261	8			1	271
65,000～69,999				2	131	5			1	139
70,000～74,999				1	74	8				83
75,000～79,999					17	1				18
80,000～					3	1	1			5
記入無し	1		1		25	1			13	41
合計	11	13	88	3	1,081	28	1	3	16	1,244



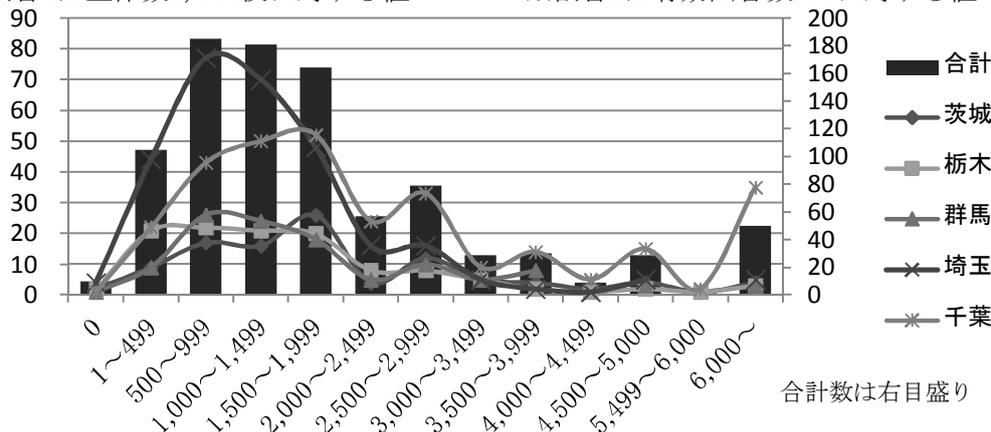
7 県別体験活動費用(生徒一人当たり平均額)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
0	2	2	1	4	1	10	0.8%	1.1%
1～499	9	21	9	44	22	105	8.4%	11.3%
500～999	17	22	26	77	43	185	14.9%	19.8%
1,000～1,499	16	21	24	70	50	181	14.5%	19.4%
1,500～1,999	26	20	18	48	52	164	13.2%	17.6%
2,000～2,499	4	8	5	16	24	57	4.6%	6.1%
2,500～2,999	12	8	10	16	33	79	6.4%	8.5%
3,000～3,499	5	5	5	5	9	29	2.3%	3.1%
3,500～3,999	4	2	8	2	14	30	2.4%	3.2%
4,000～4,499	2	1		1	5	9	0.7%	1.0%
4,500～5,000	4	2	3	5	15	29	2.3%	3.1%
5,499～6,000	1	1			2	4	0.3%	0.4%
6,000～	4	3	3	5	35	50	4.0%	5.4%
記入無し	21	44	44	126	77	312	25.1%	
合計	127	160	156	419	382	1,244	100%	

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は有効回答数932に対する値



・生徒一人当たりの体験費用は500～999円の範囲が最も多い。

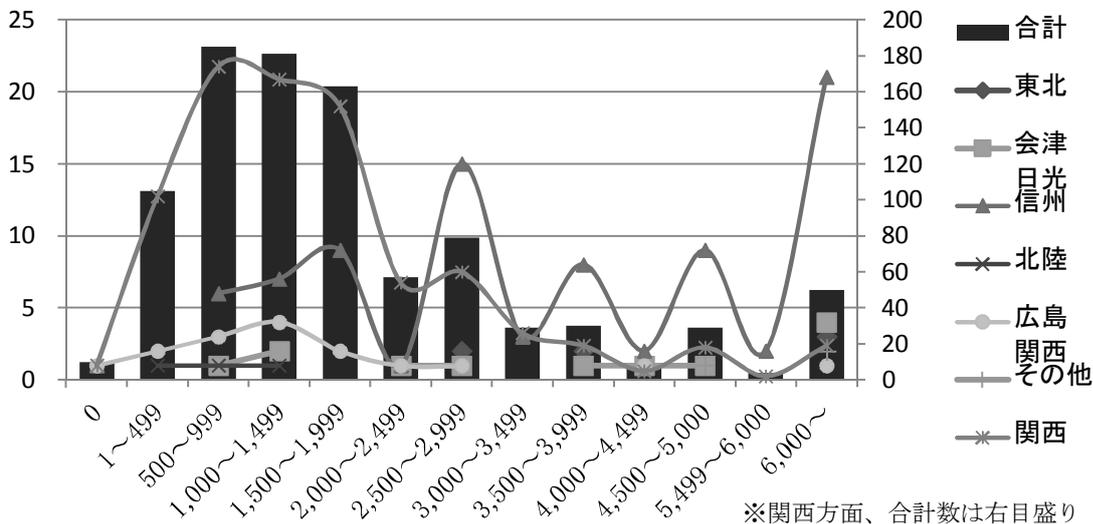
・500～1,999円の範囲に約43%の学校が含まれる。

・記入なしの学校も多く見られた。体験活動の範囲を決めかねた学校もある。

8 方面別体験活動費用(生徒一人当たり平均額)

校

	東北	会津 日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	記入 無し	合計
0			1		8	1				10
1~499				1	102	2				105
500~999		1	6	1	174	3				185
1,000~1,499		2	7	1	167	4				181
1,500~1,999			9		152	2			1	164
2,000~2,499		1	1		54	1				57
2,500~2,999	2	1	15		60	1				79
3,000~3,499			3		26					29
3,500~3,999	2	1	8		19					30
4,000~4,499		1	2		5	1				9
4,500~5,000		1	9		18			1		29
5,499~6,000			2		2					4
6,000~	3	4	21		19	1		2		50
記入無し	4	1	4		275	12	1		15	312
合計	11	13	88	3	1,081	28	1	3	16	1,244



9 方面別費用平均(生徒一人当たり平均額)

円

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均	最高額	最低額
東北					46,970	46,970	54,000	38,000
会津・日光					39,124	39,124	56,199	31,000
信州					43,090	43,090	60,000	32,836
北陸		60,000	62,500			61,667	65,000	60,000
関西	67,352	64,980	60,716	54,514	57,909	59,029	80,593	38,000
広島・関西	71,579	69,747	64,498	62,115	60,899	66,297	84,286	56,345
海外			350,000			350,000	-	-
その他					41,487	41,487	45,000	38,912
記入無し			60,000			60,000	60,000	60,000
平均	67,454	65,250	60,899		53,424	57,684	-	-
最高額	80,593	84,286	74,495	70,000	75,000	-	84,286	-
最低額	52,000	52,000	40,000	38,000	31,000	-	-	31,000

- ・関西方面は59,029円となり、昨年(58,767円)より262円の増となる。
- ・広島方面は関西方面より7,268円の増である。
- ・東北方面は千葉県が実施しているが、関西方面より約12,000円少ない費用。

- ・25年度修学旅行費用平均57,684円となり、昨年度の57,367円より317円の増となった。

※小数点以下切り捨て

※海外(350,000円)は平均から除く

10 方面別体験費用平均(生徒一人当たり平均額)

円

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	平均	最高額	最低額
東北					6,500	6,500	15,000	3,000
会津・日光					5,199	5,199	18,830	1,000
信州					4,272	4,272	15,000	300
北陸		1,000	1,050			1,033	1,500	600
関西	2,384	1,797	1,973	1,489	1,922	1,806	18,422	0
広島・関西	2,384	665	3,340	2,800	536	1,541	10,000	0
海外						-	-	0
その他					11,625	11,625	23,050	5,000
最高額	18,422	7,000	15,000	8,850	23,050	-	23,050	-
最低額	350	47	250	1	300	-	-	1

※小数点以下切り捨て

・体験費用は方面により実施内容も異なるため様々である。

・関西地区における平均費用は約1,800円となっている。

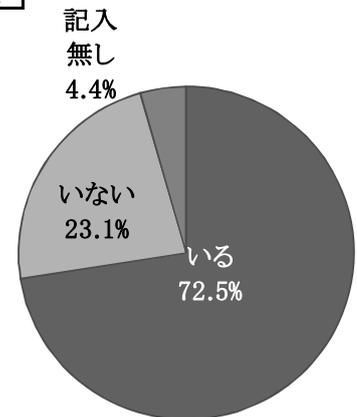
11 不参加生徒の有無

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
いる	93	111	98	300	300	902	72.5%
いない	32	41	42	94	78	287	23.1%
記入無し/不明	2	8	16	25	4	55	4.4%

※記入無し/不明には平成25年7月以降実施の学校も含む

※割合は全体数1,244校に対する値



11-1 理由別不参加の延校数と生徒数

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
合計	学校数	93	111	98	300	300	902
	生徒数	348	393	301	1,302	1,086	3,430
経済的理由	学校数	18	19	20	48	29	134
	生徒数	29	30	34	81	51	225
不登校	学校数	74	95	82	259	266	776
	生徒数	225	250	206	837	790	2,308
疾病	学校数	21	25	17	83	72	218
	生徒数	32	45	23	156	114	370
事故	学校数	1	3	1	8	5	18
	生徒数	2	3	1	14	6	26
その他	学校数	29	31	26	102	78	266
	生徒数	60	63	37	204	120	484

※内訳不明の学校があるため、合計数は一致しない

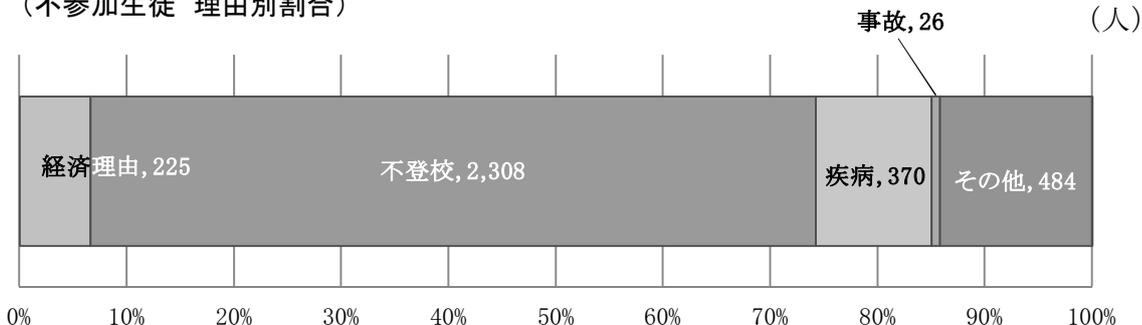
・不参加生徒のいる学校は902校/1,244校となり、昨年度の884校より若干増加傾向が見られた。

・昨年度は全校中72%の学校に不参加生徒がいたが、今年度も約72.5%とほぼ同数の学校数である。

・不参加生徒の理由は67%が不登校によるものである。

・経済的理由による不参加は225名にのぼる。

(不参加生徒 理由別割合)



12 宿泊地

1泊目	校				
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
青森県					4
岩手県					1
山形県					5
福島県					9
栃木県					4
新潟県					4
長野県					79
岐阜県					9
滋賀県		1	4	6	15
京都府	125	141	121	386	232
大阪府	1	1	2	1	6
兵庫県					2
奈良県		15	13	25	11
広島県		1	2	1	1

・旅行地が京都・奈良方面の多い関東地区の学校は京都連泊が多く、その他に滋賀県、奈良県、大阪府となっている。

・旅行地が多岐にわたる千葉県は長野県の連泊もかなり多い。福島県を含む東北方面の宿泊は多くの県にまたがる。

・連泊でない場合には、先ず一泊目として奈良に泊まり、二泊目に京都泊としている様子がわかる。

2泊目	校				
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
青森県					4
岩手県					2
山形県					5
福島県					9
栃木県					4
新潟県					3
長野県					84
岐阜県					4
滋賀県		2	5	8	14
京都府	123	144	136	400	237
大阪府		1		1	6
兵庫県				1	1
奈良県	2	4	1	8	7
広島県	1	8		1	2

3泊目	校				
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉
栃木県					1
京都府					1

IV 修学旅行での体験学習について

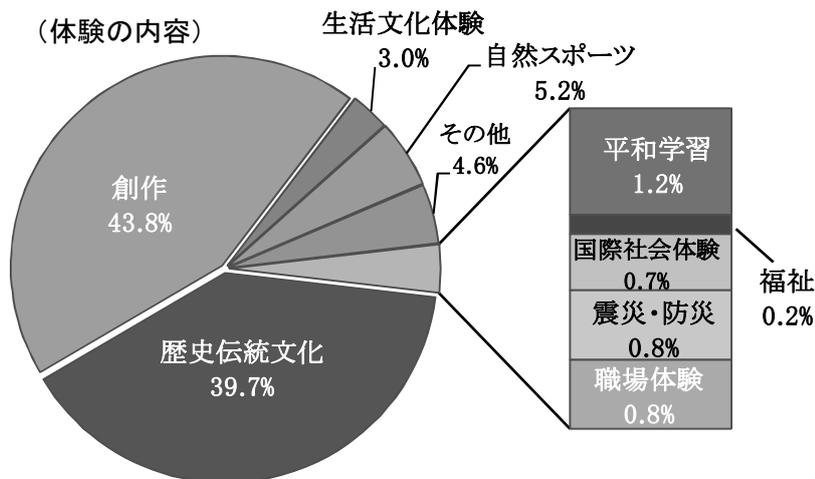
1 体験学習(直接体験)の実施について

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
実施した	119	129	113	304	324	989	81.4%
実施しなかった	8	31	22	82	58	201	16.5%
記入無し			21	4		25	2.1%
合計	127	160	156	390	382	1,215	100%

2 体験の内容について(複数回答)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
歴史伝統文化	89	67	69	171	149	545	39.7%
創作	66	81	70	181	204	602	43.8%
平和学習	1	6	3	1	6	17	1.2%
福祉			2	1		3	0.2%
生活文化体験		1	1	1	38	41	3.0%
国際社会体験		2	3	1	3	9	0.7%
自然スポーツ	2	1	3	3	63	72	5.2%
震災・防災			1	3	7	11	0.8%
職場体験		1		5	5	11	0.8%
その他	10	19	5	16	13	63	4.6%

※割合1は全回答数1,374に対する値



その他 内容

座禅 抹茶作法
 法話 座禅
 着物
 ディナークルーズ
 テーブルマナー教室
 吉本芸人の演芸会
 京ことば
 京都夜景
 御所駅伝 絆群唱
 奈良興福寺五十二段

修養体験
 食文化そば打ち
 大学訪問
 奉仕活動
 浴衣体験
 旅行記作成(和製本)
 歴史神社の見学や資料集め
 老舗見聞学習
 写経
 止観(座禅)体験

・体験活動を実施している学校は81.4%で5年前に調査した時とほとんど同数である。

・体験内容は歴史伝統文化体験が約40% 創作体験が約44%でこの二つがほとんどの学校で行われている。
 ・生活文化体験(農山漁村体験)、自然スポーツ体験は信州方面に行っている、千葉県の学校で多く見られる。

・紹介したい体験
 (京都)
 能や狂言、雅楽体験や鑑賞
 老舗見聞学習
 朝のお勤め(仁和寺・御室会館 等)
 (奈良)
 にぎり墨
 燈火会
 奈良明日香村で二日目民泊

(神戸)
 人と防災未来センター
 ディナークルーズ
 震災体験講話

(広島)
 被爆体験講話
 広島の慰霊碑で合唱

その他紹介したいもの

(京都)

狂言ワークショップ
ホテルでの型支友禅染め
雅楽と舞妓さんの踊り鑑賞
京ことば研修
芸術鑑賞(舞妓さん)和菓子作り
ギオンコーナー
護王神社での舞妓の京舞と雅楽鑑賞
止観体験 着物体験
大江能楽堂(能の体験)
大江能楽堂での狂言を鑑賞後、全体合唱を披露
金剛能楽堂
清水焼の絵付け
北野天満宮特別昇殿参拝
早朝、京都駅周辺散歩
京都テルサで4グループに分かれて体験
京都水族館見学後、魚に給飼
座禅(京都常照寺、建仁寺、妙心寺退蔵院、天龍寺、青蓮院、高台寺、御殿荘、大徳寺等)
絵付け(宿に出張してくれる)
清蓮院の抹茶体験、琴の鑑賞、扇子絵付、青蓮院門跡修養体験

(奈良)

にぎり墨(奈良市 錦光園)
奈良・薬師寺での講話
奈良の燈花台
奈良明日香村で二日目民泊
薬師寺で法話、友禅染
薬師寺法話(旅館で)、清水絵付け(旅館で)

(広島)

広島での平和学習
広島の慰霊碑で合唱
広島記念資料館でガイド付き説明
広島原爆ドーム(平和教育)
平和講話、折り鶴献上
被爆体験講話

漆器の加飾(旅館まで出張)
能 狂言体験
能(「能楽おもしろ講座」)
大学模擬授業
八つ橋作り
班活動で舞妓さん体験
近江能楽堂の能の説明・体験・観賞
朝のお勤め(仁和寺・御室会館等)
平安神宮での校歌奉納
友禅染(京友禅体験工房丸益西村屋)
和菓子作り
着付け体験で祇園・八坂神社・鴨川沿いを散策
舞妓さんと語る会
着付け、川下り

(神戸)

神戸での震災学習等
人と防災未来センター

(その他の地域)

職業講話(添乗員による話、仕事)
タクシーによる体験学習
ペンションでの体験学習
スキー実習
現地の中学校との交流活動
農村民泊、ラフティング
民泊体験、農業体験
琵琶湖クルーズ
ほっとステイ長和

V 東日本大震災の影響について

1 予定方面等の変更は

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
はい	1	1	1	0	12	15	1.2%
いいえ	126	157	134	389	369	1,175	94.5%
検討中	0	2	1	0	0	3	0.2%
記入無し	0	0	20	30	1	51	4.1%
合計	127	160	156	419	382	1,244	100%

※割合は全体数1,244校に対する値

2 変更後の行先は

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
関西方面	1	1			4	6	40.0%
信州方面					2	2	13.3%
東北方面						0	0.0%
会津方面					2	2	13.3%
広島方面					4	4	26.7%
その他			1			1	6.7%
合計	1	1	1	0	12	15	100.0%

※割合は全15校に対する値

3 検討の内容は

- ・広島を継続するか(1校)
- ・今後も検討を継続(1校)

・予定変更は15校あった。
そのほとんどが千葉県の学校である。

東日本大震災で東北方面、或いは会津・日光方面へ予定していたものが信州方面に変更して、その後、徐々に信州方面から関西や広島、会津方面へ変更する学校が出てきている。

・今年度から広島方面への集約列車が設定されて、広島方面へ変更する学校もでてきた。

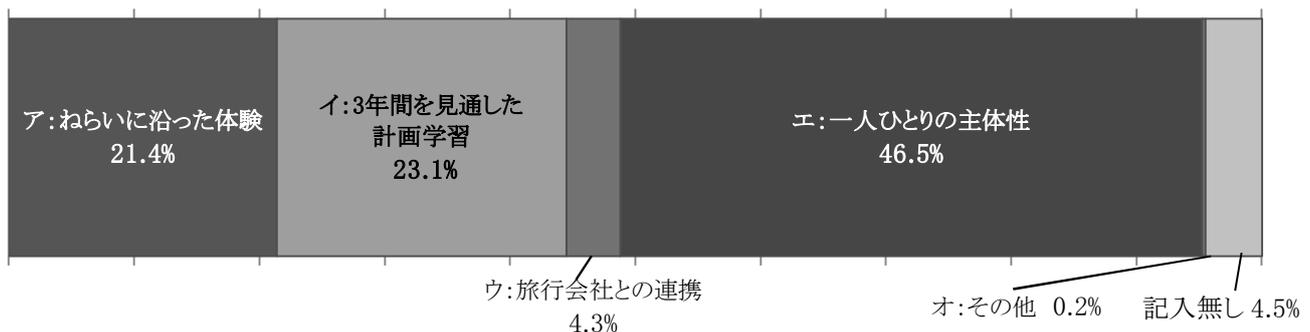
VI 「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みについて

1 修学旅行の企画で最も重視したものは

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
ア:ねらいに沿った体験	34	49	26	65	92	266	21.4%
イ:3年間を見通した計画学習	14	21	41	106	105	287	23.1%
ウ:旅行会社との連携	10	15	2	14	13	54	4.3%
エ:一人ひとりの主体性	68	74	66	201	169	578	46.5%
オ:その他				1	2	3	0.2%
記入無し	1	1	21	32	1	56	4.5%
合計	127	160	156	419	382	1,244	100%

※割合は全体数1,244校に対する値

- 生徒が主体的に取り組めるよう自覚を持たせる
----- (約47%)
 - 3年間を見通した系統的・計画的学習成果の発揮
----- (約23%)
 - ねらいに沿った体験活動
----- (約21%)
- 学びの集大成を図るべく、学校のねらいが伺える。中学生としての主体的な取り組みへの期待の大きさがでている。



2 事前事後学習について

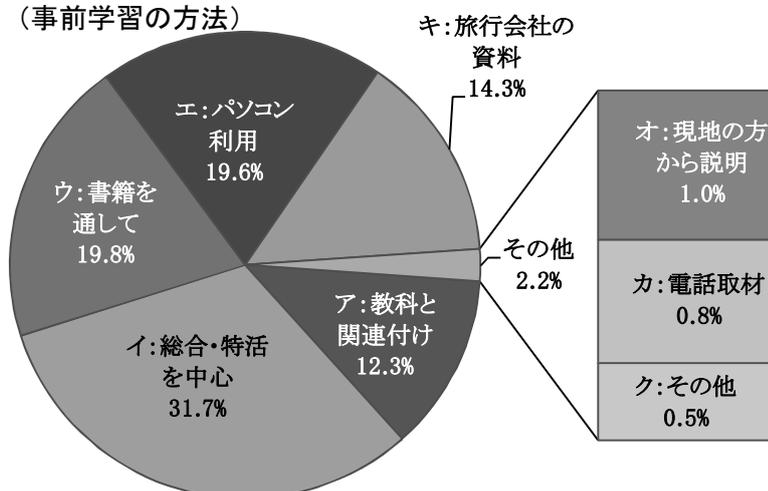
(1) 事前学習はどのように行ったか(複数回答)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
ア:教科と関連付け	47	72	41	157	131	448	36.0%	12.3%
イ:総合・特活を中心	123	154	132	382	368	1,159	93.2%	31.7%
ウ:書籍を通して	78	101	73	253	220	725	58.3%	19.8%
エ:パソコン利用	81	98	100	194	243	716	57.6%	19.6%
オ:現地の方から説明	3	2	1	12	17	35	2.8%	1.0%
カ:電話取材	7	3	4		15	29	2.3%	0.8%
キ:旅行会社の資料	75	68	54	146	181	524	42.1%	14.3%
ク:その他	2	2	2	4	8	18	1.4%	0.5%
合計	416	500	407	1,148	1,183	3,654	-	100%

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は全回答数3,654に対する値

(事前学習の方法)



・事前学習の実施状況

総合的な活動の時間・特別活動の時間を利用してしている学校は94%に及ぶ。

「書籍を通して、パソコンを利用して」生徒の主体的な取り組みを行っている学校が多く見られる。

旅行会社の資料・説明等にも大きなウェイトが置かれている。学校の事前学習に一役買っている。

教科との関連は448校/1,244校、約1/3の学校が実施している。教科と関連づけた事前・事後学習についても今後改善の余地がある。

(1)事前学習はどのように行ったか(複数回答)

その他

DVD視聴

ガイドブック(るるぶなど)

下見報告

観光協会資料

見学地と関連のある方から話を聞く

現地の方々との手紙のやりとり

職員の事前視察

能に関する講演会

放課後

現地からの資料

(2)事前学習の時間数

校

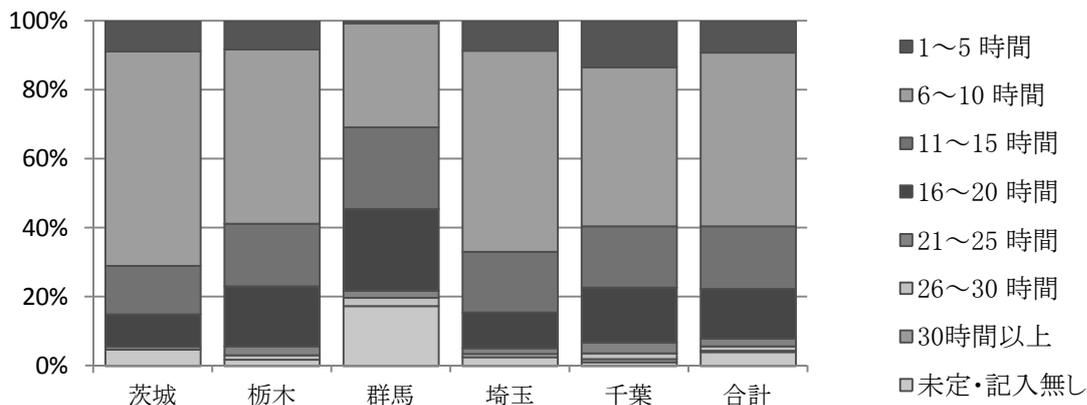
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
1～5 時間	11	13	1	36	51	112	9.0%
6～10 時間	79	81	47	244	176	627	50.4%
11～15 時間	18	29	37	74	68	226	18.2%
16～20 時間	12	28	37	43	61	181	14.5%
21～25 時間	0	4	3	7	12	26	2.1%
26～30 時間	1	2	4	4	6	17	1.4%
30時間以上					4	4	0.3%
未定・記入無し	6	3	27	11	4	51	4.1%

・事前学習の時間は6～10時間ぐらい取っている学校が最も多い。
627校/1, 215校

・6～15時間ぐらいの学校が約70%

※割合は全体数1,244校に対する値

最大80時間



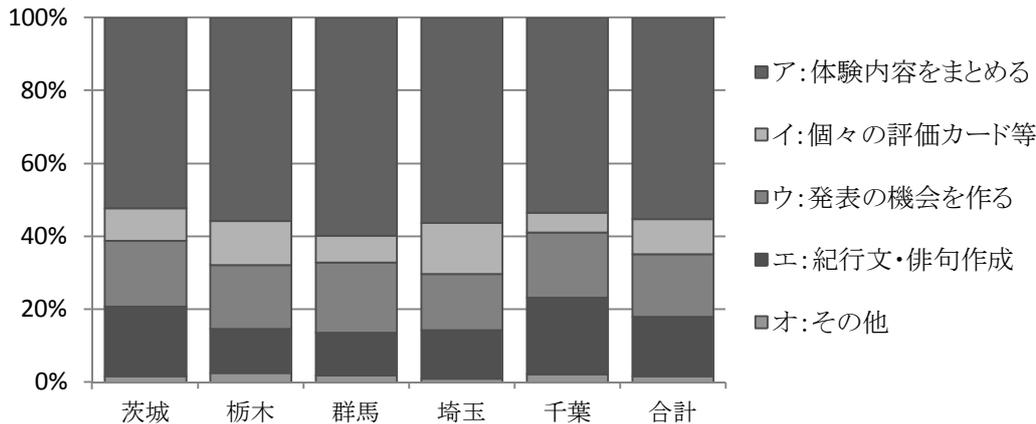
(3)事後学習はどのように行ったか(複数回答)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
ア:体験内容をまとめる	113	147	122	392	365	1,139	91.6%	55.2%
イ:個々の評価カード等	19	32	15	97	37	200	16.1%	9.7%
ウ:発表の機会を作る	39	46	39	107	122	353	28.4%	17.1%
エ:紀行文・俳句作成	41	32	24	93	143	333	26.8%	16.1%
オ:その他	4	7	4	7	16	38	3.1%	1.8%
合計	216	264	204	696	683	2,063	-	100%

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は全回答数2,063に対する値



その他

- 作文
- アンケート記入
- お礼の手紙
- ガイドブック作成
- パワーポイントを使用してまとめる
- レポート作成
- 英会話レポート作成
- 反省会
- 写真コンクール実施
- 資料を作成、2年生へ引き継ぐ

- ・事後学習で最も多く行われているのは「体験してきたものを新聞、或いはアルバム作りなどしてまとめる」というのが約92%と突出している。
- ・報告会や文化祭の機会を利用して発表する場面を設ける学校もある。
- ・紀行文・俳句作成等教科と関連付けている。

(4)事後学習の時間数

(4)-1総合的な学習の時間

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
1~5 時間	84	101	82	332	294	893	71.8%	78.3%
6~10 時間	34	44	45	61	68	252	20.3%	22.1%
11~15 時間	2	3	6	1	5	17	1.4%	1.5%
16~20 時間	0	5	0	1	2	8	0.6%	0.7%
未定・記入無し	7	7	23	24	13	74	5.9%	-

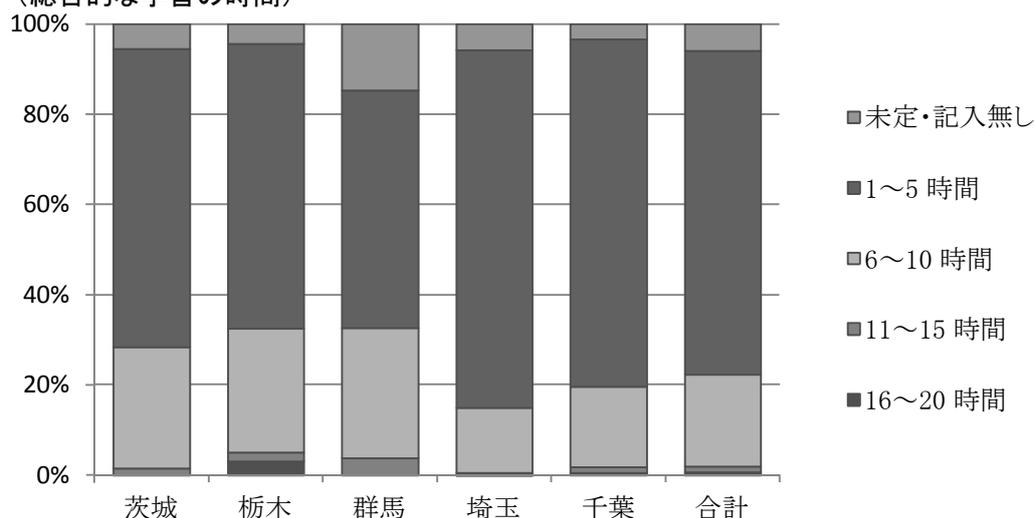
※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は有効回答数1,141に対する値

最大20時間

- ・事後学習で利用した時間は「総合的な学習の時間」が1~10時間----- (約92%)
- 「特別活動」1~2時間----- (約36%)
- 「教科(国語・社会等)」1~2時間----- (約13%)
- ・修学旅行の事後学習の時間として最もよく使われているのは、「総合学習の時間」で、時間数も「教科や特別活動」の時間より多く取られている。

(総合的な学習の時間)



(4)-2教科(国語・社会等)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
1時間	18	9	10	33	38	108	8.7%	54.0%
2時間	11	5	3	15	25	59	4.7%	29.5%
3時間	3	1		5	4	13	1.0%	6.5%
4時間	1	3		1	7	12	1.0%	6.0%
5時間	1		3		2	6	0.5%	3.0%
6時間以上		2				2	0.2%	1.0%
未定・記入無し	93	140	140	336	306	1,015	81.6%	-

※割合1は全体数1,244校に対する値

最大6時間

※割合2は有効回答数200に対する値

(4)-3特別活動

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
0時間					1	1	0.1%	0.2%
1時間	18	31	12	95	53	209	16.8%	39.2%
2時間	13	20	31	79	91	234	18.8%	43.9%
3時間	6	3	6	18	22	55	4.4%	10.3%
4時間	2	4	2	9	6	23	1.8%	4.3%
5時間			1	1	5	7	0.6%	1.3%
6時間以上	1		1	3	3	8	0.6%	1.5%
未定・記入無し	87	102	103	214	201	707	56.8%	-

※割合1は全体数1,244校に対する値

最大10時間

※割合2は有効回答数533に対する値

(4)-4 その他

平均(時間)

家庭学習	2
学活(2校)	5
学年日課(1校)	11
集会(1校)	1
昼休み(3校)	1.6
放課後(5校)	2.8
宿題(3校)	-
その他・記入無	5.5

最大17時間

(4)-5 事後学習時間は取れず

千葉 1校

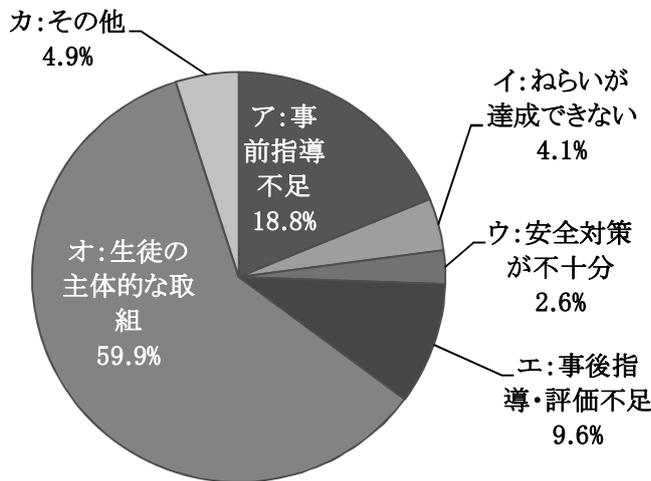
(5)今後の課題は(複数回答)

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
ア:事前指導不足	19	38	28	90	110	285	22.9%	18.8%
イ:ねらいが達成できない	3	3	7	36	13	62	5.0%	4.1%
ウ:安全対策が不十分	2	6	6	13	13	40	3.2%	2.6%
エ:事後指導・評価不足	20	22	12	40	52	146	11.7%	9.6%
オ:生徒の主体的な取組	100	122	102	315	269	908	73.0%	59.9%
カ:その他	9	11	13	26	16	75	6.0%	4.9%

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は有効回答数1,516に対する値



(5)今後の課題

・今後の課題として最も多かったのは「いかに生徒の主体的な取り組みとするか」----(73%)

が最も多く、企画する上で最も重視したものがやはり課題としても挙がってくる。修学旅行は普段の学校生活の延長線上にあり、日々の実践の中でも、生徒の主体的な取り組みについては検討していくことが重要である。

・課題の2番目、3番目に「事前指導の不足」と「事後指導(評価)が不十分」と挙げられているが、物理的に指導時間が不足しているために不十分であったというものと、内容的に指導不足となってしまったものとの分析する事が重要である。

・その他の中で、修学旅行での経験を今後はどう生かすか、「体験プログラムの検討」等が書かれているが次年度に生かせることは確実に生かしていきたい。

その他の具体的な内容

3年進級後の準備の時間が足りない
学年発表の時間が取れない
指導時間の確保
2年生からの積み上げ、歴史・文化
6月末実施だったため、十分時間が取れなかった
事後指導の時間の確保
事前・事後の縮減
事前・事後指導の時間の確保
事前の計画
事前指導の時間が取れない
事前指導の時間の確保
時間の確保
時間不足
時期や事後指導の時間的問題
時数の確保
時数調整
学級間での事前学習の差
年度初めの他の活動との調整
見学地をよく調べる
資料の活用・データベース化
修学旅行の準備時間をとられ、教科等の準備時間がけずられる

教員の勤務時間
教科とどう関連づけるか
リーダー育成を主眼とした若手教員育成
夏休みを挟み評価しなければならない

業者との十分な打合せ
実施2年前から業者と交渉
旅行会社変更に伴う確認
旅行業者との連携
選択の検討、業者との早めの打ち合わせ

班別活動の在り方
班別行動での見学地の検討

修学旅行の体験を次にどう生かすか
十分達成できた
活動を今後に生かし、継続させること

学校生活への結び付け
規範意識
全員参加
電車の乗り方の指導

喫煙車両による体調不良
健康面
アレルギー対策
インフルエンザ対策

広島までなので余裕がない
自校で企画実施する
本校のねらいに沿って継続していくこと
集合時間が早い
土・日の京都市内の混雑及び悪天候に対する準備不足
日程・行程が厳しかった
経費をできる限り減らすこと
体験プログラムの検討

3 被災地復興支援について

(1) 修学旅行に関連して復興支援活動(募金等)を行ったか 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
支援した	1	6	5	14	13	39	3.1%
特にしていない	114	150	125	396	362	1,147	92.2%
未記入	12	4	26	9	7	58	4.7%

支援活動の具体的な内容

「雨ニモマケズ」を1学年で群唱、修学旅行で発表
 応援Tシャツを作成し、一部を義援金とする
 現地視察と発表会
 市のボランティア活動への参加
 福島での実施
 草花を植えた
 東北に修学旅行に行ったこと
 南三陸町中へ金銭的支援
 支援金を送った
 費用の端数を支援に
 復興コンサート、募金
 募金、空き缶回収売上げを募金(20校)

- ・被災地への復興支援活動については39校が支援している、という回答であった。
 支援の内容については募金、義援金というものが多かったが、他にも復興コンサートを開催したり、応援Tシャツを作成し義援金を送ったり、宮沢賢治の詩を群唱、修学旅行で発表したり、様々な活動が見られた。
- ・復興はまだまだ道半ばという感想を耳にするが、時間と共に風化してしまうことのないよう今後とも、一層強く支援の気持ちを持ち続けることが大切である。

VII 調査結果から

1 修学旅行での体験学習について

・修学旅行における直接体験活動については81.4%の学校が実施しており、ほとんどの学校が旅行先での体験を重視している。

体験の内容を見てみると、創作的なものが一番多く、次いで歴史・伝統文化体験、二つを合わせると84%となっている。

自然スポーツ体験と生活文化体験についてはそのほとんどが、千葉県の学校で占められており、信州や会津方面での農業体験や自然との触れ合いに重点を置くものとみられる。

・「他校の参考となる体験学習の紹介」について資料を参照

訪問地によって様々な特徴があり、それぞれの地域が特色を生かした学習を設定している。これらを参考にしながら、自校の目的にそって、単に体験を行ったというのではなく生徒に主体的な取り組みをさせるように、しっかり決定していきたい。

2 修学旅行の行き先変更について

・昨年度は東北方面、会津・日光方面から別の地域への変更が顕著に見られた。今年度は関西方面に加えて広島方面に足を延ばすケースも出てきている。

・今年度は15校の行き先変更があった。そのうち、12校が千葉県であるが、4校が関西方面へ、4校は広島方面へ、信州方面と会津方面へ2校ずつの変更である。

東北方面や会津方面への修学旅行が昨年や一昨年に比べて確実に増加してきている傾向が見られる。関東地区では東北方面へ11校、会津・日光方面が13校と実施する学校数が増加して23年度の倍、またはそれ以上の増加となっている。

3 『学びの集大成を図る修学旅行』の取り組みについて

(1) 修学旅行を企画する上で最も重視したものを一つ選んで下さい。

・各学校が修学旅行を企画する上で最も重視している事は、「生徒が主体的に取り組めるよう自覚を持たせる」ことであると、約50%が回答している。

修学旅行という実践の場を通して主体的な取り組みを期待している。強いては学校生活の中でこれらの力を発揮させたいという意図が考えられる。

・「3年間を見通した系統的・計画的な学習の成果を発揮する」と「ねらいに沿った体験活動をさせる」が20数パーセントずつになっているが、これはまさに「学びの集大成を図る修学旅行」への取り組みと言える。

(2) 事前・事後指導(学習)をどのように行いましたか。

①事前学習をどのように行われましたか。(複数回答可)

- ・「総合的な学習の時間」や「特別活動の時間」を活用して事前学習に取り組んでいる、というのが多い。
- ・次いで、「書籍を通して」と「パソコンを利用して」が、ほぼ同じくらいの割合で続いている。

生徒たち一人一人の調べる時間を十分に確保し、主体的に取り組ませようとする意図が窺える。

- ・「教科と関連付けて」が12%強という結果となっているが、歴史・文化・伝統については、学習内容にも含まれ大変つながりの強い社会科や、伝統美術、工芸なども、教科の特性を生かした指導が期待される。また、俳句や紀行文、表現力などは国語科でも関わりの大きいものがあり、取り上げ方の工夫でもっと多くの学校が取り組めるのではないかと考えられる。

②事前学習の時間はトータルで何時間ぐらい取れましたか。

- ・約半数の学校は6時間～10時間を確保している。6時間～20時間までの中に約83%の学校が含まれている。これらの時間は、総合学習の時間や特別活動の時間を使って事前学習に取り組んでいる。取り組み方としては、書籍やパソコンを利用してというものや、旅行会社からの資料等を利用してというのが多く見られる。30時間近くの時間を使って事前学習に対応している学校もある。

③事後学習はどのように行われましたか。(複数回答可)

- ・体験したものを個人新聞や班新聞にまとめたり、個人アルバム作りをしたりして、事後学習を充実させている学校も約90%の学校が実施するなど、大変多く見られた。また、個々に評価カードを利用して事後学習の充実を図っている様子も以前に比べ多く見られた。
- ・発表する機会を設けてプレゼン能力等、表現力の向上を図る活動を行っている。
- ・紀行文・俳句作成など授業に取り入れる工夫をしている学校も多く見られる。

④事後学習の時間はどれくらい取れましたか。

- ・総合的な学習の時間を1～5時間利用して行っている学校が約70%と最も多く見られた。

次いで、特別活動の時間を1～2時間利用している学校がそれぞれ20%ぐらいと多く見られる。

- ・国語や社会科等の教科を利用して行っている学校も10%ぐらいあるが、1～2時間ほどの中で実施している。その他として、短学活や昼休み放課後の時間の利用等もみられる。

⑤今後の課題は何ですか。

・「いかに生徒の主体的な取り組みにしていくか」ということが約7割近くの学校から課題として挙げられている。

・次に、事前指導の不足を挙げている学校が多く見られる。

・事後指導（評価）が不十分と考えられている学校も多く見られる。

教科指導の時間の増加に伴って、修学旅行に向けての事前学習、事後学習の時間が不足する中、生徒の主体的な活動への取り組みはますます困難な状況になってきている。

特に、事前学習での見学地への興味づけは、見学地での主体的な行動や事後学習における評価活動に直接関わってくるものと思われる。

(3) 被災地復興への支援（募金等）が行われていましたらお聞かせ下さい。

・関東地区5県の中で約40校の学校が復興のための支援活動を行っているという回答している。

内容は様々であるが、募金や空き缶回収などの収益金を被災地に送るというケースが最も多くあった。「宮沢賢治の詩を群唱し、修学旅行で発表する」とか、「東北へ修学旅行に行った」「応援Tシャツを作成し、義援金とした」「復興コンサートを開いて募金を募った」というような工夫をしている学校も見られた。

VIII まとめと今後の課題

《まとめ》

年々学校が多忙化して特別活動の時間確保が困難になり、修学旅行に利用できる時間（事前学習や事後学習も含め）が少なくなっている中、学校として、具体的にどのような取り組みを行っているのか、学習とどのように結びつけて取り組んでいるのかを調査研究することとした。

また、修学旅行を企画する上で、学校として最も重視する事は何か、直接体験活動を重要視している学校が多くなってきている状況の中で、どのような体験活動が行われているのか、調査することとした。

かつては「体験ありき」、とにかく旅行先で体験をすることに重点を置かれていた。最近の傾向として、体験により何を学ばせるのか、といったものが多くなってきている。いかに旅行地での人との触れ合い場面を多くしていくか、といったところに重点を置かれる傾向が強くなってきている。

いろいろな学校の取り組み方を知って、自分の学校と比較しながら考えていくことも大切なことである。

《課題》

- (1) 体験学習を取り入れた学校は、平成21年度の81.8%から平成25年度の81.4%とほぼ同じ割合の学校が実施している。関東地区から関西方面への修学旅行は、約87%の学校が実施している。関西に行っている学校は歴史・伝統文化体験、もしくは、創作活動等の体験活動をしている学校がほとんどと言ってよい。

多くの体験をさせようとすればそれだけ費用もかかり、痛し痒しといった現象も起こる。修学旅行のねらい、企画する上で、最も重要と考えている事と良く照らし合わせた上で体験活動の内容も検討していきたい。

体験活動の内容の精選、吟味がこれから各学校に於いては重要課題である。

- (2) 事前学習は、6～10時間を使っている学校が最も多く、約50%の学校で行っている。11～15時間の利用も含めると約70%の学校での実施となっている。

事後学習の時間は総合的な学習の時間を使って、1～5時間程度が最も多く、約70%と出ている。総合的な学習の時間と教科学習を使って事後学習を実施している、という学校も多くあると考えられる。ただし、使用時間は教科や特別活動はいずれも2時間以内というのが圧倒的に多い。

生徒たちの学習意欲につなげたり、自己評価につなげたりして、個々の学力や感性を育てる観点に立った場合はさらなる時間の捻出等も視野に入れたい。

- (3) 学校目標を基に修学旅行の計画も立てられるが、修学旅行は日常の学校生活の延長であると考えられる。日ごろの学校生活の中での集団活動、集団生活、仲間関係こそ修学旅行の活動の中で発揮され、より良い方向へと導くものと考えられる。

実践の場として、学びの集大成の場として修学旅行を再考し、今後も学校として検討していくことが望まれる。

- (4) 計画策定にあたり具体的目標を設定し、生徒がどこまで計画づくりに参画できるかが、生徒の参加意欲に大きな影響を与える。意欲的な事前学習、当日の活動は事故回避と同時に生徒の主体的な取り組みにつながるものと考えられる。

本日の研究発表では、茨城県の中学校2校の研究発表が行われる。

研究発表1では、東海村市立東海南中学校の栗田徹先生が「デジタル作品づくりをとおして育成する力(創造・工夫)と緻密さへのこだわり」と題し、修学旅行を素材に事前・事後学習と教科の関係について、綿密な計画を立て実践する様子が窺える。

研究発表2では、水戸市立見川中学校の大貫克則先生と石川聡先生が「共に考え、学び合う修学旅行」と題し、校訓に迫るための修学旅行をいかに実施して行ったか、学びの修学旅行の実践の様子が発表される。また水戸市としての修学旅行の取り組み方が紹介されている。

これらの2つの実践例と調査研究については、今後の各学校の修学旅行実施上の参考になるものと考えられる。